



延鎮上人・坂上田村麻呂公の画像を掲げ厳修された開山忌法要



法要のあとの織部流扶桑派による開山忌四ツ頭茶席



「みずの日」浄水讃仰法要で本堂へ行道する出仕僧侶たち



西車寄に花御堂をしつらえ営まれた降誕会



清水寺式衆と石清水八幡宮祭員が向かい合う中、献花祭の表白を奉読する森貫主



献花祭で御宝前に供えられる清水寺の霊水と石清水八幡宮の神水

# 結ぶところは

清水寺貫主 森清範

夏になりました。今回は昔の思い出話を織り交ぜて話してみたいと思います。

夏の風物にホタルがあります。昔は清水寺の境内でも、たまにホタルが飛んでおりました。京都の北の方、龍安寺の入り口あたりにはよく飛んでいました。いまはどうか知りませんが、かつての住職が友達でしたので、夏によく遊びに行き、たくさんのホタルを見ました。いまでは京都のホタルの名所といえますと、貴船でしょうか。

清少納言は『枕草子』にホタルについて書いています。ホタルがたくさん飛び違えているのがよいと言っています。そうかと思うと、ただ一匹、二匹がほのかに光ってツーッ、ツーッと飛ぶのもよいと書いています。要するにホタルは多くても少なくとも風情があってよいというわけです。



対談で話す森清範貫主

清少納言は、夏は夜がお好みでした。春は東の空が白むあけぼの曙、秋は夕暮れ、冬は早朝というように一日のうちでも時間が移って行くのがわかる頃が気に入っていたのです。ですから夏の昼間、セミがやかまし

く鳴いて、ドラックとしてしまいそうな時は下品で嫌いだっただけです。

昨年の孟蘭盆法話にあたって何か話すのによいものはないかと『枕草子』をもう一度読み返しました。『枕草子』には清水寺が何度も出てきますから、清少納言は清水寺が大好きだったのです。読み返してみても清少納言は千年昔の人ですが、なかなか現代的でお茶目な明るい人です。といっても貴族の女性であり、一条天皇の皇后定子に仕えている人ですからセレブであります。

## 平安時代の贅沢品 「かき氷」

あてなるもの、つまり上品なものというところに、かき氷が出てきます。かき氷は当時「削り氷」といっていました。その削り氷にツル草から採った甘味料をかけて、新しい金属製のお椀に入れて食べています。つまりかき氷にシロップをかけているわけです。千年昔と現代と変わりありません。いまはイチゴシロップやレモンシロップになっただけです。皆さんも夏にかき氷をよく食べるだろうと思います。頭がキー

ンとなるような冷たいものが美味しい。しかし、考えてみますと、製氷技術がなかった平安時代の夏に、かき氷を食べるのは大変な贅沢品です。冬に凍った氷を氷室に入れて密封し、夏になったら開けて取り出し、宮中まで運んでくるのですから、一般の人はとも食べられません。超セレブの食べ物だったのです。なるほど上品なものです。

先ごろ、招かれて料理屋に参りましたら、デザートに削り氷が出てきました。削った氷にシロップがかかっているだけです。「珍しいものができたな」と食べてみますと、口の中で氷が時折カリッと当たって美味しいのです。機械で氷を削れば、雪のような粒のそろった氷が素早くできますが、わざわざ手で氷を削っています。手で削りますと、手の動きが止まる時ができて、氷の粒が一樣になりません。氷のデザートはモタモタしてはいられませんから、五、六人の料理人が一斉に削って一気にお膳に出しているのでしょうか。その心配りと工夫に感心して「料理というのは人の心と手の技なのだ」と納得しました。

子どもにとって夏といえば、水泳が楽しみです。私の中学校時代、英語の先生が水泳を教えていました。浄土真宗の和尚さんだったと思いますが、かわいがってくれました。みんなで水泳同好会をつくって私も入りました。現在もありますスイミングクラブの京都踏水会近くの疏水に縄を引っ張って二十五メートルのコースにしました。そこを潜って泳ぎ切り、またターンして戻ってきました。当時は潜水泳法が普通でした。オリンピック選手の小川勝さんとか古橋廣之進さんとか、皆さん、飛び込んだらずっと潜って泳いでいました。いまでは長く潜ったら違反です。それにしても疏水で泳ぐというのは、現代では考えられないことです。

昔は泳ぐといえば、私の場合、川か、あるいは琵琶湖でした。琵琶湖で泳ぐ時には面白いことをしました。琵琶湖にはいまま競艇場があります。「ボートレースびわこ」です。その競艇場に行くのに京都・東山の京阪三条駅から送迎バスが出ていました。こちらにはもうありませんが、無料で行くことができました。もちろん競艇場を利用する人のためのサービ

スでありますから、競艇場以外のところに行くわけにはいきませんし、子どもは当然乗ってはいけません。ところが、親切なおじさんがいるのです。「早よ乗り。早よ乗り」とバスに潜り込ませてくれました。帰りもまた「早よ乗り」と言ってくれます。学校の行き帰りでさえ、連れ去って殺害したり誘拐事件が起こったりする恐ろしい現代社会では絶対にはならないことですし、させてもいけません。かつてはこうして琵琶湖に泳ぎに行きました。

### 初めて海を知った交換学習

私は海を知りませんでした。初めて知ったのは清水小学校六年生の時です。清水小学校は清水寺のある地域の小学校です。七年前に学校が統合されてなくなりました。その小学校の六年生になった時、白浜第一小学校と交換学習が始まりました。夏に清水小学校から三クラスが白浜に行きます。すると白浜第一小学校から春か秋に三クラスが京都にやってくるのです。お互い講堂で父兄の用意した布団で寝ます。食べ物はいもとか米を持って行き、向こうでは